

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年12月7日(2022.12.7)

【公開番号】特開2021-37129(P2021-37129A)

【公開日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-013

【出願番号】特願2019-160873(P2019-160873)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月29日(2022.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であって、特定領域を遊技媒体が通過することを条件として遊技価値を付与する遊技機であって、

前記有利状態において付与された遊技価値の総数に関する総数値情報を更新表示可能な総数値情報表示手段と、

制御中の前記有利状態において付与された遊技価値の数に関する今回数値情報を更新表示可能な今回数値情報表示手段と、

前記総数が特定数値に達したことを総数値情報と共に通する数値情報を前記特定領域の位置に関連する態様にて表示することで報知する到達報知演出を実行可能な到達報知演出実行手段と、を備え、

特定数値は、到達報知演出により報知可能な数値の上限である特別数値と、該特別数値未満である複数種類の所定数値とを含み、

前記複数種類の所定数値は基準の特定数値の整数倍の数値である一方、前記特別数値は前記基準の特定数値の整数倍の数値ではなく、

前記総数値情報表示手段は、前記総数が前記特別数値に達したことを報知する到達報知演出が実行された場合、総数値情報として前記特別数値を表示した後、該総数値情報の更新を停止し、

前記今回数値情報表示手段は、総数値情報の更新が停止された後、今回数値情報を更新可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(A) 本発明による遊技機は、

所定の遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であって、特定領域を遊技媒体が通過することを条件として遊技価値を付与する遊技機であって、

40

50

前記有利状態において付与された遊技価値の総数に関する総数値情報を更新表示可能な総数値情報表示手段と、

制御中の前記有利状態において付与された遊技価値の数に関する今回数値情報を更新表示可能な今回数値情報表示手段と、

前記総数が特定数値に達したことを総数値情報と共に通する数値情報を前記特定領域の位置に関連する様にして表示することで報知する到達報知演出を実行可能な到達報知演出実行手段と、を備え、

特定数値は、到達報知演出により報知可能な数値の上限である特別数値と、該特別数値未満である複数種類の所定数値とを含み、

前記複数種類の所定数値は基準の特定数値の整数倍の数値である一方、前記特別数値は前記基準の特定数値の整数倍の数値ではなく、 10

前記総数値情報表示手段は、前記総数が前記特別数値に達したことを報知する到達報知演出が実行された場合、総数値情報として前記特別数値を表示した後、該総数値情報の更新を停止し、

前記今回数値情報表示手段は、総数値情報の更新が停止された後、今回数値情報を更新可能である、

ことを特徴とする。

さらに、(1) 本発明による遊技機は、所定の遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態、小当たり遊技状態、時短状態、または確変状態であってもよい。)に制御可能な遊技機であって、有利状態において付与された遊技価値(例えば、払い出された賞球)の総数(例えば、総賞球数 T 1)に関する総数値情報を(例えば、総賞球数表示)を更新表示可能な総数値情報表示手段(例えば、演出制御用 CPU 120 における、ステップ 066 IWS 2102B を実行する部分)と、制御中の有利状態において付与された遊技価値の数(例えば、今回賞球数 T 2)に関する今回数値情報を(例えば、今回賞球数表示)を更新表示可能な今回数値情報表示手段(例えば、演出制御用 CPU 120 における、ステップ 066 IWS 2122 を実行する部分)と、総数が特定数値(例えば、1000、5000、10000、50000、99999)に達したことを報知する到達報知演出(例えば、第 1 到達報知演出～第 5 到達報知演出)を実行可能な到達報知演出実行手段(例えば、演出制御用 CPU 120 における、ステップ 066 IWS 2106, S2110, S2114, S2118, S2121 を実行する部分)と、を備え、特定数値は、到達報知演出により報知可能な数値の上限である特別数値(例えば、99999)と、該特別数値未満である複数種類の所定数値(例えば、1000、5000、10000、50000)とを含み、複数種類の所定数値は基準の特定数値(例えば、1000)の整数倍の数値である一方、特別数値は基準の特定数値の整数倍の数値ではなく、総数値情報表示手段は、総数が特別数値に達したことを報知する到達報知演出(例えば、第 1 到達報知演出)が実行された場合、総数値情報として特別数値を表示した後、該総数値情報の更新を停止し(例えば、演出制御用 CPU 120 は、ステップ 066 IWS 2102A の Y である場合にはステップ 066 IWS 2102B を行わない)、今回数値情報表示手段は、総数値情報の更新が停止された後、今回数値情報を更新可能である(例えば、演出制御用 CPU 120 は、ステップ 066 IWS 2102A の Y である場合にもステップ 066 IWS 2122 を行う)ことを特徴とする。そのような構成によれば、到達報知演出を実行することにより、有利状態において付与された遊技価値の総数が総数値情報として表示可能な上限であることを遊技者が容易に認識できるとともに、総数値情報の更新が停止された場合であっても今回数値情報を継続して更新可能であることにより興奮の低下を抑制することができる。 20 30 40 50